

時事新報定價

時事新報へ一年三百六十五日一日モ休刊セズ其代價退

送料廣告料ヘ左ノ如レ

○一箇月前金六圓○三箇月前金一圓五十錢○六箇月前金三圓

○時事新報社ヨリ直接ニ郵便ニア通送スルモノニ限、右定價ノ外ニ一圓

月二十六日ノ送料料ヲ申受ク

時事新報廣告料前金

五錢居字ニテ	一行廿四字	一行三付	一行三付
自十一行至十行	八錢	七錢	七錢
三十一行以上	六錢五厘	六錢三厘	六錢八厘五毛
百一一行至卅行	九錢	八錢	七錢二厘
自十一行至十行	八錢	七錢	六錢三厘
三十一行以上	六錢五厘	六錢三厘	五錢九厘五毛
百一一行至十行	九錢	八錢	七錢二厘
三十一行以上	六錢五厘	六錢三厘	五錢九厘五毛

時事新報

歐洲國際の關係(前號の續)

佛伊兩國の關係今日に於て甚ざ圓滑あふさるの事例は

一にして足らざれども暫らく其重ある者を掲げんに豫て兩國

佛伊兩國の間に取結びたる通商條約の期限ハ昨年八百八

十七年の十二月を以て終りと爲し爾後ふれど其儘に繼

續するか或は改正と加へて新規に締約可きかは兩國

別に改めて相談に及ぶる筈なれども近來に至りては佛

國の人心伊國を疾視すること甚だしく兩國通商の事に

關しても伊太利產の貨物は一層その稅を重くして之

を苦ましむ可しとの點甚だ盛んなるより兩國通商條約

の改正に際しても佛國は種々の苦情を申唱へ伊國に反

對するならんとは世人の待駄け居たる所なりしに三月

二十八日巴里發の報に據れば佛國は屢々通商條約に

關する伊國の提出議と拒絕たりと云へ電報の旨簡

易にして事の詳細を悉すに由あれば是より先づ佛

國政府に於ては伊國より輸入の生絲類に新課課稅する

の議に決しキログラム二百六十六枚保に付生絲は

一フラン(金貨五錢)の割を以て既に去る三月一日より之を

實行せるに至りたる其次第は本月十四日時事新報の雜

報欄内に載せる所なり而して佛國が何故に斯く

獨り伊國産の生絲類に課稅するやと尋ねるに一説に佛

國は世人も知る如く綿織物の製造を以て有名あれども

今日多く其原料を伊國若くハ東洋諸邦に仰ぐの不便あ

る故に今後ハ本國に於て養蠶業と經營し務て外國生

絲と市場外に輸出と可しとの論に決し保護貿易の第一

に於て既に足るの友誼を種子にし斯る手段に及びたるに非

角も兩國の關係何となく近來面白からざる其處に伊國

ナシの時事新報にも載せたる如く伊國の總理大臣ク

リスセーが議院よ於て外交事件の討議に際し「予は今

日迄歐洲大陸の問題に付てハ何事も猶遇及ばず地利に

協同し將來海上の事に付ては總て英國と喜憂と共にす

るの政策を實施したり次に伊佛兩國の友誼は今日の程

度にて既に足りり尚ほ一層の友誼を顯はさんと欲する

も詰へざる所あり云々」と述べたるは如何ある意ぞや

兩國の關係既に足るの友誼ありと云ふと得べきや且

つ一層の友誼を願ひよんと欲するも詰はすと云ふの精神は兩國の實際面缺くる所あらずして眞に親交の仲なりとの意味にも聞え方其言外の旨却て人をして解釋

右ハ佛國有名ナル「メニエール」民ノ製造開其善良

化一比類ナハ給テ侯ダズ而ノ價ノ廉ナムト健康ヲ助

ケルハ世界萬民ノ普ク知ル成ニレテ日増シ其高評

ト成シ夫也・貢日・貢日・貢日・貢日・貢日・貢日

チヨコレート廣告

右ハ佛國有名ナル「メニエール」民ノ製造開其善良

化一比類ナハ給テ侯ダズ而ノ價ノ廉ナムト健康ヲ助

ケルハ世界萬民ノ普ク知ル成ニレテ日増シ其高評